

～蒸し暑い梅雨空の下、そば播きを体験～



一列に並び横に4往復×5



ムラなく丁寧に播きました



最後には農業クラブの生徒も加わって…



農業クラブの生徒が分配しました

7月27日に能代西高校の農場を会場に、能代地区高等学校PTA交流会が開催され、能代地区各高等学校のPTA会長や教頭先生、能代西高校からも藤田校長先生等が参加し総勢25名で「そば播き」を体験しました。

始めに能代西高校の渡部先生がそば播きの手順を説明し、今回作業する圃场面積は1.5haであることを伝え、参加者からは「えっ!そんなにも~?!」と驚きの声が上がりました。

夏休み返上でお手伝いに駆け付けた農業クラブの生徒5名からそばの種を受け取り、参加者らは早速作業を開始。30a区画の圃場に横一列に並び縦に2往復、横に4往復し丁寧にそばの種を播き一時間半程度で作業は終了。当日は黙っているだけでも暑苦しい梅雨空の下参加者らは額に汗を浮かべながらも、時より吹く風が気持ちよさを感じ参加者らは全身で自然と農に触れ合っていました。次回は今回播いたそばを使ったそば打ちを体験する予定です。

インターンシップ ～一所懸命頑張りました～

夏休みを利用して、生物資源系列の生徒4名が7月26日～8月2日までの5日間「朝場畜産（代表 朝場 重明）」と「農事組合法人轟ネオファーム（代表 高橋 裕）」のご協力の下、農畜産物の生産に携わる職業観の形成と、今後の進路選択、学習意欲の向上、何よりも社会人としてのマナーの会得を目的にインターンシップを実施しました。



3年 生物資源系列
加藤 未衣奈さん
所属クラブ 農業クラブ
学校でも畜産に関わることはあるが、牛舎の掃除をするにしても頭数も敷地面積も規模が違い大変だった。



3年 生物資源系列
高橋 菜さん
所属クラブ 茶道部
次々と収穫されてくる白神ねぎの出荷作業体験し、箱詰めの際に折れたり、潰したりしないよう注意を払うべき事項がたくさんあり気を使い、見た目以上に大変であった。

2年 生物資源系列
佐藤 愁椰さん
所属クラブ 写真部
畜産に関わるのは今回が初めてで、牛の迫力に最初は圧倒されたが徐々に慣れたが、エサやりやワラの敷き詰めなど、当初想像していた以上にハードでした。



2年 生物資源系列
宮腰 光希さん
所属クラブ 写真部
従業員の方がテープで手際よく結束した白神ねぎを如何に早く丁寧に箱詰めするかを考えながら作業した。作業舎の中はねぎの効果で目が痛かったが徐々に慣れてきた。



4人が第一に声を揃えて発するのは、「大変だった」という感想でしたが、生徒達はこの夏貴重な経験を積むことができました。